

【学園研 B】

1. 研究課題名

女子大生に向けたファイナンス・英語リテラシー教育方法の開発

---

2. 研究代表者名

所属学部：現代マネジメント学部 職名 教授 氏名 角本 伸晃

---

3. 研究分担者

所 属：現代マネジメント学部 職名 准教授 氏名 R.Gee

---

所 属：現代マネジメント学部 職名 准教授 氏名 S.E.Quasha

---

所 属： 職名 氏名

---

4. 研究成果の概要（1, 200字程度で記入。ただし、図・グラフは使わないこと）

<研究経過>

金融の自由化、グローバル化、女性の社会進出など現代の女子大生を囲む経済環境は、経済学（特にファイナンス）と英語力を必要とする時代になっている。しかし、経済学と英語はそれぞれ別個の専門領域として研究され、教育されてきた。そこで、本研究は、ファイナンスを中心とする経済学と英語力を融合させて、女子大生に有機的に学習・修得する教育方法を探求することを目的として、5月から毎月1回のペースで打ち合わせ・検討会を実施した。

前期は、後期からの授業実践のための構想を具体化することに主に注力された。特に、各研究担当者の授業教材の開発に重点が置かれた。後期は、授業実践を行いながら次の授業実践に修正・改良を加える形で、ミーティングが開催された。

<具体的な研究成果>

(1)学会発表

12月6日にそれまでの授業実践と成果を報告するために、経済教育学会第24回大会（亜細亜大学）で、共同研究発表を行った。

(2)研究報告書の作成

上記の共同研究発表の際に作成したパワーポイントと資料を別紙報告書に製本した。具体的な教育効果については、本報告書に記載されているが、3人が取り組んだ教育方法によって、学生のファイナンス・英語リテラシーの向上にかなり寄与することがわかった。

(3)学会誌への投稿

経済教育学会の機関誌『経済教育』第28号(2009年11月刊行予定)への投稿依頼が来ており、それに投稿する予定である（4月20日締切）。